

# 第15回計測自動制御学会システムインテグレーション 部門講演会 (SI2014)

大 隅 久\*

\*中央大学理工学部 東京都文京区春日 1-13-27  
\*Faculty of Science and Engineering, Chuo University, 1-13-27, Kasuga,  
Bunkyo-ku, Tokyo, Japan  
\*E-mail: osumi@mech.chuo-u.ac.jp

JL 0006/15/5406-0444 ©2015 SICE

第15回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2014)を、2014年12月14日(日)~17日(水)の日程で、東京ビッグサイト会議棟で開催いたしました(図1)。(14日は中央大学後楽園キャンパスでフォーラム、ワークショップのみを開催。)講演会は例年通りオーガナイズドセッション方式で、63件のオーガナイズドセッションを企画しました。講演件数は725件、参加者数は1,126名、また、機器展示28社、カタログ展示1社と、大変多くの方にご参加いただきました。ご参加いただきました皆様には大変感謝申し上げます。

今回は東京での開催でしたが、12月中旬にこれだけの大規模な講演会の会場を、予算的に可能な範囲で手配するのは難しく、会場の選定には苦勞いたしました。ただ、最終的には東京ビッグサイトという大変立派な会場を利用することができ、幸運でした。講演概要集には昨年からのUSBメモリの利用を踏襲したほか、今回の工夫としまして、機器展示会場にできるだけ参加者が集まりやすいよう、講演会場の中央に休憩室を兼ねた広い空間を準備いたしました(図2)。研究者や学生と企業の方、あるいは企業の方同士の交流がいつも以上に行われたことを期待しております。また、講演会場の一角ではSICE自動化システム部会50年を記念した3名の歴代の主査の方による講演会も行われ、多くの参加者がありました。ただし、講演件数725件、講演スロット130を超える規模の講演会の会場としては決して広いわけではなく、いくつかの講演室や会議室などは手狭なためご迷惑をおかけしたかもしれません。

特別講演では中央大学教授の石川幹子先生に、東日本大震災における津波被災地からの復興まちづくりのお話をいただきました。石川先生は宮城県岩沼市の震災復興会議議長を務められ、東日本大震災の津波被災地で最初に復興の街づくりをスタートさせた方で、どの被災地も復興が進まない中、どのように成功に導かれたのか大変興味深くお話を伺いました。講演では、震災復興の遅れが想像以上に深刻であること、また今後の被災地のあり方などについても大変深く考えさせられると共に、人々の合意こそ究極のシステムインテグレーションであると感じました。参加者の皆様にとっても大変意義深いお話

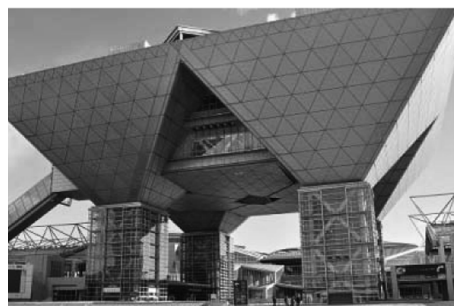


図1 会場の東京ビッグサイト会議棟



図2 企業展示会場の風景

しであったと思います。懇親会には2014年度計測自動制御学会の仲田隆一会長、本多敏副会長にもお越しいただきました。また、部門との交流もいただき、システムインテグレーション部門にとっても大変有意義であったと思います。

最後になりましたが、本講演会のセッションを企画くださいましたオーガナイザの皆様、開催に際しての貴重なご助言、ご指導を賜りましたSI部門長ならびに部門運営委員の皆様、開催の準備・運営にご尽力をいただきましたSI2014実行委員の皆様、さらに、スタッフとして準備、運営に立派に役目を果たしていただきました中央大学学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。

次回の第16回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2015)は名古屋大学新井史人実行委員長のもと、2015年12月14日(月)~16日(水)の日程で、名古屋国際会議場で開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。  
(2015年3月23日受付)